

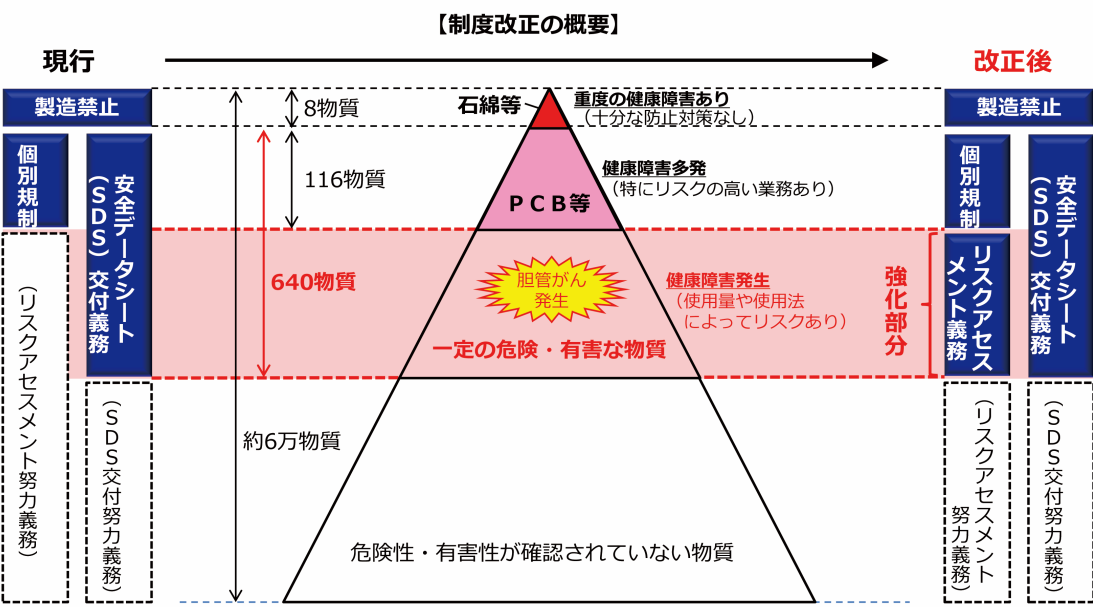
化学物質管理システム“Chemmat”が開発された理由

- 2016年11月に労働安全衛生法改正が施行され640物質の枠が拡大しリスクアセスメントが義務となった
- 記録媒体として磁気保存30年保存が義務となった

1. 化学物質管理のあり方の見直し ※新法規改正事項

○危険・有害な物質に対する個別規制対象外の物質でも、使用量や使用法によっては労働者の安全や健康に害を及ぼすおそれ（「胆管がん事案」の原因物質も発生時は特別規則による個別規制対象外）

- 一定の危険性・有害性が確認されている化学物質（安全データシート（SDS）の交付が義務づけられている640物質）について、事業者は危険性又は有害性等の調査（リスクアセスメント）を義務付ける。



2

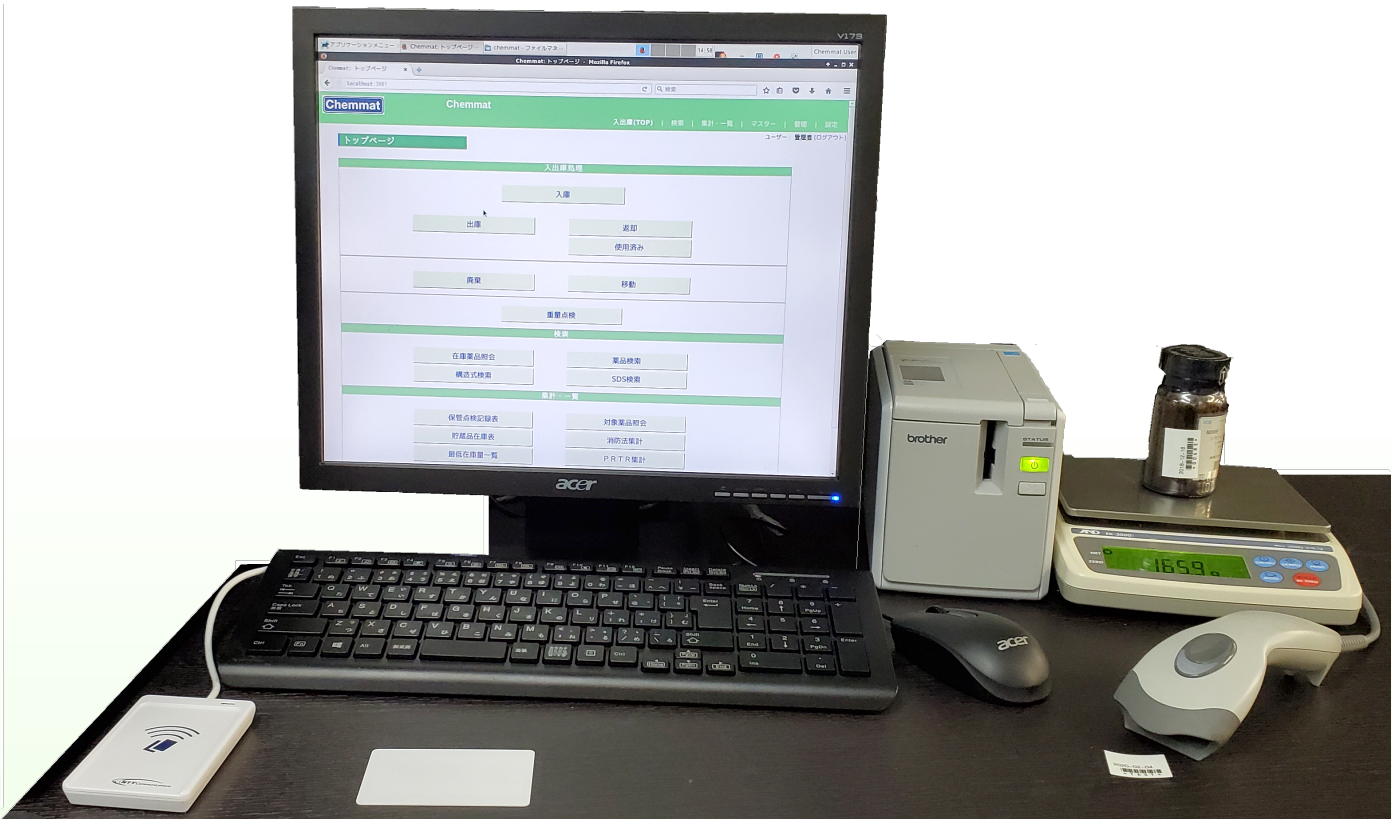
※労働安全衛生法の一部を改正する法律（平成26年法律第82号）の概要2ページ目より抜粋

- 化学物質管理システム“Chemmat”は豊富なオプションと様々な機能を持ちリスクの低減化のお手伝いをいたします。
- 学校・病院・研究室・工場現場など、労働安全衛生法を始めとする様々な法令対策に従業員・研究者すべての化学物質使用環境の安全性向上のお手伝いをいたします。
- 様々な運用事例があります。
- ご説明に専門員がお伺いいたします。是非、お問い合わせください！

化学物質管理システム



- 充実した薬品データベースで、購入薬品の登録を強力サポート
- GHSラベルやSDSの表示で安全性をサポート
- 使いやすいユーザーインターフェース・使い方に合わせた登録機能
- 豊富な集計機能と帳票作成で管理業務をサポート



Chemmat

化学物質管理システム“Chemmat”は研究室や工場などの化学物質を管理し、働く人の安全性の向上リスクアセスメント実施のお手伝いをいたします。

主な特徴

- OSはLinuxを採用しており、長期運用面においてもOSは無償で使用できウイルスやスパイウェアに強くランニングコスト※の低減へ繋がり、同時に48,000人使用した場合でもOSのライセンス費用は一切かかりません。
- 使用者側の要望に応じた帳票作成や官公庁の申告フォーマットを毎日の化学品使用量のデータから法令ごとに集計し印刷が行える。
- 化学品を入庫登録する際、化学品メーカーの管理コードから化学物質管理システムとインターネット経由しSDS情報を拾い化学物質管理システムへ収納されます。

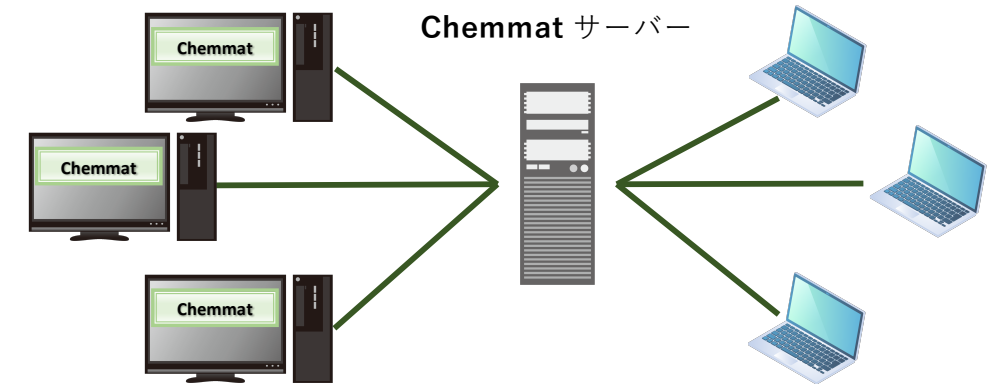
※通常品はLinux版のウイルス対策ソフトがインストールされています。オプションとして、Windows版ウイルス対策ソフトのインストールは可能です。ただしWindows版のウイルス対策ソフトは、1台あたり1ライセンス費用負担となりインストール費用も別途となります。



構成例

Chemmat 入在庫端末

ユーザーPC



LAN経由で複数の入在庫端末を接続
各ユーザーは自室のPCからも薬品の検索・帳票の印刷が可能

入在庫探索：薬品の登録、使用量登録、廃棄登録等を実施
電子天秤、ラベルプリンター、バーコードリーダー等を接続可能

主要オプション

- 構造式検索：構造式による在庫薬品の検索
- ログイン機能拡張：社員カード、バーコード、指紋認証によるログイン機能
- リスクアセスメント対応：JISHA方式による化学物質のリスクアセスメント対応

化学物質管理システムの基本概要図

